



電子証明書の利用に関する update

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

重要なお知らせ(1)

- **利用規約が新しくなります**
 - JPNIC認証局証明書 利用規約
 - 資源管理証明書(クライアント証明書) 利用規約

- **主な変更点**
 - 認証局と証明書の目的を明記
 - 記入欄等の修正

- **次回「電子証明書の利用に関する説明会」
(2006年5月予定)以降に適用開始**

内容

- 前回の指定事業者連絡会で頂いたご質問・ご意見に関するupdate
- 電子証明書の発行状況
- 電子証明書に関する説明会について



前回の指定事業者連絡会で 頂いたご質問・ご意見に関するupdate

頂いたご質問(1)

- 質問
 - 「配布された電子証明書は幾つかのPCに設定する事は可能か。複数の場合はその数を申請時に明記するのか？」
- 回答
 - 資源管理者用の電子証明書(資源管理カード)
 - 基本的に資源管理者のPC(一台)での利用を想定
 - 但し、複数のPCに差し替えて利用可能
 - 資源申請者用の電子証明書
 - PCへインポートし複数のPCで利用可能
 - Web経由で複数発行可能
 - PCごとに電子証明書を発行して利用できる

頂いたご意見(1)

- 郵送前の事前通知について
 - 「資源管理者として登録されている担当者に対して、予め通知もなく郵送される手続きは社内での混乱を招く場合もあるため改善してほしい。」
 - 改善策を実施
 - 担当者からの申し込みがあった旨を、事前に資源管理者にメールで通知
 - 2005年11月以降の申し込みで実施中

頂いたご意見(2)

- 正式サービス化について
 - 「セキュリティが向上するのは嬉しいので、正式サービス化して欲しい。ただ、組織の(リアルな)形態に余り制約をつけない運用をお願いしたい。」
 - 当面の間、試験利用
 - 運用上問題がなければ正式サービス化を目指す
 - 2007年10月に一旦実験結果をまとめ見直す
 - 運用に対する制約は、利用者のなりすましを事後に調査できる範囲でなるべく簡素化

頂いたご意見(3)

- 個別のメニュー制限
 - 「個別のPCに電子証明書を入れるのであれば、利用できるメニュー制限の設定も出来るようにしてほしい。例：Bさんはユーザネットワーク申請のみしか利用できない等」
 - 役割に基づくメニュー制限
 - 資源管理者と資源申請者の違いによるメニュー制限を実施中
 - 例：資源申請者しか申請業務メニューを利用できない
 - 資源管理者しか資源管理メニューを利用できない
 - 具体的なニーズがありましたらお寄せ下さい
 - メニューの種類と制限の細かさ等
ただし、実装する為には大きなシステムの改変が必要

頂いたご意見(4)

- ログイン記録の閲覧
 - 「ユーザのログイン記録を閲覧できるようにして欲しい。」

 - 実装を検討
 - 不正アクセス後のトレースに必要となる機能
 - 時期は明らかではないが、実装を検討したい。



電子証明書の発行状況

電子証明書の発行状況

- 期間: 2005年8月24日 ~ 2006年4月18日
 - 資源管理カードの発行
 - 発行数: 33
 - 失効: 8
 - 利用数: 25
 - IP指定事業者: 10
 - JPNIC事務局: 15
 - 今後、定期的にカウントし統計をとる予定



電子証明書に関する説明会について

- **開催時期**
 - 5月中旬
- **告知方法**
 - 開催の2週間前をめぐりに告知
 - Web申請システム
 - JPNICトップページ
- **内容(予定)**
 - JPNIC認証局と「Web申請システム」の認証強化実験の概要
 - インストール手順
 - 「資源管理カード」の利用手順
 - 資源申請者用電子証明書の利用手順

情報源とお問い合わせ先

- JPNIC認証局のWebページ
 - <http://www.nic.ad.jp/ja/research/ca/>
(jpnica.nic.ad.jp)
- お問い合わせ先
 - ca-query@nic.ad.jp